

平成28年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター
マザーアース

目 次

1. 施設の概要	1
2. 沿革	1～4
3. ケア報告	5～7
4. 苦情報告	8
5. 安全衛生委員会	9
6. 特別養護老人ホーム	
(1) 入所の状況	10
(2) 月別入退所者数	11
(3) 行事実施状況	12～13
(4) 面会者状況	14
(5) 外出状況	14
7. 在宅支援について	
(1) 短期入所生活介護現況	15
(2) 短期入所 報告	16
(3) 年間短期入所生活介護利用状況	17
(4) 年間通所介護利用状況	17
(5) 通所介護 現況	18
(6) 通所介護 報告	19
(7) 通所介護年間行事	20
8. 施設内事故報告	21～22
(1) 事故発生場所 時間	23
(2) 事故・ヒヤリハット 件数報告 ヒヤリハット発生場所 時間	23
9. ボランティアの受け入れ状況	24
10. 実習の受け入れ	25
11. 職員研修・施設内研修	26～29
12. 健康管理	
(1) 健康管理処置状況	30
(2) 通院・入院状況	31
(3) 常食給与栄養摂取量	32
(4) 行事食実施記録	33
(5) 平成28年度反省	34
13. 居宅介護支援事業所	35
14. 地域包括支援センター	36～37
15. あんしんセーフティネット事業 報告	38

1. 施設の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター マザーアース
- (2) 所 在 地 埼玉県ふじみ野市大井621-1
- (3) 開 設 平成5年8月1日
- (4) 事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)
居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター
- (5) 敷地面積 4,430.53m²
- (7) 職 員 数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 3名
相談員 3名 看護師 4名 ケアリーカー 43名
主介護支援専門員 2名 介護支援専門員 2名 社会福祉士 1名
保健師 1名 管理栄養士 1名 調理員 11名
施設管理 2名 委託医(非常勤) 2名
- (8) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の一号被保険者及び40歳以上65歳未満の二号被保険者(心身に障害があり、その原因となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

- 平成 5年 7月 社会福祉法人 崇徳会 認可
理事長に 野溝 伊之助 就任
- 7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可
施設長に 田貝 邦子 就任
- 8月 マザーアース開設
- 9月 タイ政府高官視察来訪
- 10月 デイサービス開設より事業開始
- 平成 6年 2月 ネパール国立病院総婦長視察研修来訪
- 4月 老人短期保護事業開始
- 7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 12月 大相撲双山闘来所
- 平成 7年 1月 在宅介護者ふれあい教室開催
- 6月 不在者投票所認可
- 7月 不在者投票実施
- 8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 10月 国勢調査施行(ホーム内)
- 12月 中国安徽省人民政府市長代表視察団来訪
- 12月 県生活福祉部長、歳末特別慰問の為来訪
- 平成 8年 8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 10月 県知事不在者投票実施

平成 9年	3月	在宅介護支援センター新築工事竣工
	4月	在宅介護支援センター開所式を行い開所
	9月	施設長 田貝 邦子 退任
	10月	施設長 野溝 守 就任
	12月	サウンド・オブ・マザー県民文化祭出場
平成10年	4月	ホリデーサービス開始
	8月	開所5周年記念行事
平成11年	2月	サービス評価事業実施
	10月	居宅介護支援事業所開設
平成12年	4月	介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。 併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアースと改める。
	10月	国勢調査施行（ホーム内）
平成13年	4月	通所介護事業の定員を20名から25名に増員する。
	10月	申出窓口及び第三者委員の設置
平成14年	8月	開設10周年記念行事
	9月	埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により 送迎リフト車整備
平成15年	3月	入所制度の改革により入所検討委員会を設置
	4月	短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員する 訪問介護事業を廃止する。
平成16年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
	5月	郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
	9月	島田行雄大井町長 敬老祝賀で来所
	12月	「痴呆」の呼称を「認知証」に変更
平成17年	10月	大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
	10月	介護保険制度の改正により、室料・光熱費・食事サービスに要する 費用が介護保険の対象外となる
平成18年	4月	介護保険制度の改正により、地域支援事業（介護予防事業）が制度 化される
平成19年	3月	在宅介護支援センター閉所
	3月	理事長 野溝 伊之助 退任
	4月	理事長 野溝 守 就任
	4月	地域包括支援センター開所
	9月	島田行雄 ふじみ野市長 敬老祝賀で来所
平成20年	3月	開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演 共催 大井町社会福祉協議会（大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業）
	6月	本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
	11月	「介護サービス公表」の訪問調査を受けた
平成21年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備 入所検討委員会 第三者委員変更

苦情申請窓口 第三者委員変更
介護職員処遇改善交付金事業の申請を行う

平成22年 2月 介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する
短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する

10月 埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート

11月 平成22年度 松下福祉基金
民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」
相談員が参加

平成23年3月11日 14時46分 東日本大震災の発生
原発事故の被災者2名受け入れる

3月14日 課長会議招集、計画停電の為エレベーター・ダムウェーターの使用不可となるため朝食時間の変更、又、食材不足のため献立の変更。

3月15日 被災者受け入れ調査（埼玉県福祉部高齢福祉課）に受け入れ可と回答

3月16日 原発被災者（大熊町）の受け入れ1名

3月17日 介護職員派遣依頼（埼玉県福祉部高齢福祉課）があり3名登録回答

3月23日 原発被災者（楓葉町）の受け入れ1名

3月31日 寄付金 17万円を埼玉県老人施設協議会に送金

4月 8日 計画停電が解除となり、食事時間・献立等を通常に戻す

12月 第5回埼玉県高齢者福祉研究大会
分科会にて「終末の方のデイサービス利用について」
研究発表を行う。

平成24年 6月 介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者6名）
7月 冷暖房設備の整備

10月 入所検討委員会 第三者委員変更

平成25年 5月9日 埼玉県主催 「合同入職式」に7人参加
社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に取り組む

7月 生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ

8月30日 「マザーアース 開設20年記念パーティー」 開催

9月11日 生活保護受給者チャレンジ支援事業の現場視察のため
田村 憲久厚生労働大臣 来訪

平成26年 2月12日 「介護の魅力PR隊」へ参加

8月21日 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 着工

9月 1日 「彩の国あんしんセーフティネット事業」 開始
埼玉県第2ブロック拠点施設となる。

9月20日 「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて
「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。

平成26年10月 1日 「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始
ふじみ野市より受け入れ施設として指定される

平成27年 1月15日 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工

1月 30日	赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による ナースコール設置
3月 1日	マザーアース ホームページ 開設
3月 10日	「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて 各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ学校図書の 購入費を寄付
9月 24日	「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて 「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う
10月 29日	埼玉県、ふじみ野市実地指導監査
11月 11日	東台小との交流を皮切りに「福祉の心を育む交流事業」が 始まる
11月 24日	赤い羽根共同募金助成事業監査 実施 民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」 相談員が参加
平成28年 3月 7日	「福祉の心を育む交流事業」にて 各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ 学校図書の購入費を寄付
平成28年 4月 14日	熊本地震発生
5月 6日	平成28年度埼玉県介護職員合同入職式4名参加
5月 13日	熊本地震寄附金110,000円を全国老人福祉施設協議会へ送金
8月 1日	埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定
10月 4日	喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者2名）
11月 9日	公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー 交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽 四重奏コンサート」の開催
11月 23日	「福祉の心を育む交流事業」にて東台小と交流 5年生を対象に「福祉」についての説明会開催
12月 2日	赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による アプローチ舗装工事着工
12月 19日	赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による アプローチ舗装工事竣工
12月 30日	「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される
平成29年 2月 9日	「福祉の心を育くむ交流事業」にて東原小と交流 マザーアースにて演奏会を開催
3月 20日	「福祉の心を育くむ交流事業」にて大井中と交流 マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
3月	「福祉の心を育くむ交流事業」にて 各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ 学校図書の購入費を寄付

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

平成28年度は、利用者の生活の中で楽しみ、生きがいのある生活を重視し、事故を未然に防ぐ為に事故防止の検討、職員の意識統一を重点的に行った。

- (1) 排泄介助では、その方に合った排泄パターンを見つけトイレ誘導とオムツ交換を実施した。また、利用者に適した排泄用具（オムツ、パット）の検討を行った。
- (2) 余暇活動、コミュニケーションの実施として、おやつ作りやレクリエーションを通して楽しさや親しみを感じて頂き、アロマオイルを使って上下肢の血行をよくするマッサージを行った。マヒの方や拘縮のある方には可動範囲内でリハビリも兼ねて行うようにした。又、足湯を行い、健やかにすごして頂けるように努めた。
28年度後半、職員増員によりレクと作業が充実し、午前中から笑顔と楽しそうな声や、黙々と集中する姿が見えるようになった。
- (3) 「入浴事故防止対策」と「リハビリ」、「排泄」、「介護記録の書き方」、「夜間の転倒時の対応」、「感染予防対策」、「虐待防止」、「褥瘡について」、人材育成として「チューターへの協力と新任職員へのかかわり方」等のOJT（施設内研修）を行い、資質の向上を図った。
- (4) 毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導をしていただくと共に、計画書を作成し、口腔ケアを実施した。
- (5) 施設内で死亡された方が13名。（看取り介護13名）
御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との見通しを聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。
「今日一日を大切にする」ために日課で予定されない生活を重視した。
徐々に衰えていく利用者に合わせて看護面、介護面、栄養面で配慮した。
時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員が中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。
看取り介護が終わりケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか検討し今後の看取りを行う自信を得た。
「終のすみか」としての役割を果たしたと言える。
- (6) 「看護は介護がなくては活かされない」「介護は看護がなくては安心できない」を基本に医療と介護の連携を行った。
- (7) 虐待防止の係る取り組みとしては、虐待防止対策のために外部研修への参加や施設内研修の実施、心配事やイライラが仕事に差し支えない様に職員のストレスのセルフコントロールが出来るよう職場環境の整備を行った。
- (8) 感染症対策への理解
インフルエンザやノロウイルス等感染症は例年のごとく猛威をふるい、職員やその家族の一部にも影響があった。利用者、職員は全員インフルエンザの予防接種を実施し、職員や職員の家族が感染した際の健康管理ガイドラインに従って対応

をとった。除菌水の使用や換気により空気内洗浄を実施し、基本的な手洗いうがいも各自しっかりと行い、予防に努め、今年度は利用者の感染はなく過ごせた。

【デイサービス】

(1) 生活援助

ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。

(2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）

高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持つていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。

(3) 相談

ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。

(4) 送迎サービス

ご利用者の身体の状況や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。

(5) 入浴サービス

ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにしながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデ

イでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。

半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。また、舞の会、3B体操、民謡、ちぎり絵、生け花、ハーモニカ、書道等の指導はボランティアの方についても継続してお願いしている。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。

今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。

平成28年度は5名の相談をいただき、3名の受け入れをした。

また、地域包括支援センターからの依頼にも迅速に対応した。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保していた。前年に比べて実人数は増えている。1日平均人数も増えているということは、一人当たりの利用者日数が長くなっているということで、収入増に繋がっていると思われる。

(3) 利用者確保

利用予約を待っているだけでお客様が来る時代ではないということを再認識して、入所待機者のケアマネへ当施設のショートステイを利用して頂くように声掛けを随時行なった。又、見学者に対しても、送迎を行なう等、利用者様、ご家族のニーズに沿った対応も行ってきた。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、常時廊下の掲示板に貼り出している。今年度は実際に連絡した人はなく、第三者委員の方々にも問題がなくて助かりますとの言葉をいただいた。また、第三者委員に対して苦情の報告会議を行い、一つ一つ説明して意見をいただいた。些細な苦情も書類に残し改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、職員の処遇方法、荷物の管理方法、報告・連絡・相談が出来なかった事、ターミナル時の説明の相違が挙げられた。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいってしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。今まで通り事故を回避する対策は取るもの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとって、一番良い対応を考えようとして専門性を感じている。

今回「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、「起きてしまった事への対処方法」も考えてなければならないと感じた。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、想いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

(1) 活動実績

- 安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を毎週行った。
- 産業医による環境のチェックを毎月行った。
- 職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- 感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・職員会議にて食中毒や感染症の研修を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会の際手洗いうがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・施設におけるノロウイルス対策の講義に参加した。また、その内容を職員に対して研修を行い、徹底に努めた。
- 健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

(2) 29年度の活動予定

- 引き続き施設内の定期的な巡回・点検を行い、安全・衛生管理を行っていく。
- 流行感染症への対策を行い、感染症の発生および拡大予防に努める。
- ストレスチェックの実施。検査後のサポートを行う。
- 健康診断を元にした、職員の健康管理のサポートを行う。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

①保険者別(H29.3.31現在)

保険者	男	女	計
ふじみ野市	11	33	44
富士見市	1	1	2
三芳町	1	3	4
川越市	2	2	4
能代市	0	1	1
東松山市	0	1	1

②年齢構成(H29.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65～69歳	0	0	0	0%
70～79歳	4	2	6	11%
80～89歳	8	20	28	50%
90～99歳	3	18	21	38%
100歳以上	0	1	1	1%

③平均年齢(H29.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	96	70	79.7
女性	101	77	84

男女平均 (82.4)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.98	4.00	4.00	3.96	3.96	3.94	3.96	3.89	3.91	3.91	3.91	3.92

⑤要介護度入所者構成(H29.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	3	18	15	20	56

(2) 月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員
4月	55	2	2	55
5月	55	1	0	56
6月	56	3	3	56
7月	56	1	1	56
8月	56	1	1	56
9月	56	2	3	55
10月	55	4	4	55
11月	55	1	0	56
12月	56	3	3	56
1月	56	0	1	55
2月	55	2	1	56
3月	56	0	0	56
合計	667	20	19	668

入所者
男性 9名、
女性 11名

退所者
男性 8名、
女性 11名

* 退所理由
→死去 14名
(ホーム内で
の死去 13名)

※御家族や嘱託医の協力を得て各職域の全力ケアのもと
ホーム内で安らかなターミナルを迎えた方達が 13名
いらっしゃいました。

(3)行事実施状況

①年間行事実施状況

月	日	行 事 名
4月	28	ホーム喫茶
5月	26	ホーム喫茶
6月	9	フルート演奏会
	23	ホーム喫茶
7月	21	コーラス
	28	ホーム喫茶
8月	6	夏まつり
	25	ホーム喫茶
9月	19	敬老会
	29	ホーム喫茶
10月	4	なみき幼稚園マーチングバンド
	27	ホーム喫茶
11月	9	日本フィル弦楽四重奏
	21	東台小学校へ訪問
	22	東台小学校 交流会
	24	ホーム喫茶
12月	6	東台小学校 交流会
	8	フルート演奏会
	10	東入間警察少年剣道
	22	ホーム喫茶
1月	26	ホーム喫茶
2月	16	東原小音楽クラブ
	23	ホーム喫茶
3月	20	大井中 合唱交流会
	23	ホーム喫茶

※「福祉の心を育む事業」では、今年も近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めています。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	※	Aグループ	口腔 アセスメント	包布交換	※
火	美容	美容	美容	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	※	リハビリ	※
木	※	※	※	Aグループ	ミーティング	ミーティング	※
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊び	回診 ミーティング
土	※	※	※	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	浴室清掃 環境整備	環境整備	浴室清掃 環境整備	希望者	ケアプラン記録 車椅子清掃 介護課会議	ケアプラン記録 車椅子清掃 介護課会議	ケアプラン記録 車椅子空気入れ 介護課会議

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 每日、午前、午後に実施
- ・部分清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 毎日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

舞の会・3B体操・クローバー・学生ボランティア
レクリエーション・ホーム喫茶・体重測定
懇話会・コーヒータイム・精神科
ナースコールチェック

職員会議・リーダー会議・各部署会議
看護介護課会議・給食会議
ホーム内研修・検便

年 間 実 施 表

利 用 者 健 康 診 断
職 員 健 康 診 断
外 部 研 修

(4) 面会者状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	150	157	159	168	151	180	197	203	236	240	192	217
1年間合計											2,250人	
月平均											188人	

(5) 外出状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

家族と共に外出して食事や買い物を楽しむ利用者は6人、自分で外出して、好きな昼食をとったり、買い物してきたりする利用者は0人、また、行事等で外出された方は48名いらっしゃいました。

面会に訪れるご家族は定期的に来られる方が主で、面会の全くない利用者も数人いらっしゃいました。

残念ながら、外泊をされる方はいませんでしたが、面会される方々には手足のマッサージ等と一緒にいながら、時間の共有を勧めるようにしています。

7. 在宅支援について

(1)短期入所生活介護現況(H29.3.31現在)

①保険者別(H29.3.31現在)

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	3	3	6
富士見市	0	1	1
狭山市	0	1	1
三芳町	0	1	1
川越市	1	0	1
合計	4	6	10

②年齢構成(H29.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
40~69歳未満	0	0	0	0%
70~80歳未満	3	1	4	40%
80~90歳未満	1	2	3	30%
90~100歳未満	0	3	3	30%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	4	6	10	100%

③平均年齢(H29.3.31現在) (才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	88	71	76.0
女性	99	78	89.8

男女平均 (84.3)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	2.7	2.7	3.0	3.0	2.9	2.8	3.0	2.9	3.2	3.3	3.3	2.7

⑤要介護度別構成

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	3	4	2	1	10

(2) 平成28年度 短期入所 報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数(28年)	20	23	22	19	22	24	19	19	20	16	14	19	237
延人数(28年)	227	274	293	311	397	357	286	294	251	254	252	272	3468

2. 平均利用者数 平成28年度 平均 9.7 人/日

3. 総利用者数 平成28年度 289人/1ヶ月 計 3,468 人

4. 介護度別利用日数

H28年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1	50	38	33	0	3	12	4	0	0	0	0	9	149
要介護2	21	38	34	42	60	76	70	81	48	40	48	52	610
要介護3	65	90	112	169	232	173	108	108	82	106	85	124	1454
要介護4	81	77	113	100	102	96	75	75	118	96	98	68	1099
要介護5	10	31	1	0	0	0	29	30	3	12	21	19	156
計	227	274	293	311	397	357	286	294	251	254	252	272	3468

要介護3～5 平成28年度 2,709人 およそ78%

平均介護度 … 3.0

平均利用者日数… 15.0

平均利用者年齢… 84.3

統計として、要介護5のショートステイ利用はほとんどないのは、やはりどこの施設も優先的に要介護5を入所させているからと思われる。

前年度に比べ、要介護2が若干減り、要介護3、4が増えている。

又、要介護3～5の割合も前年度より10%以上増えている。

これは、老健において在宅復帰させることで加算がつくようになった事から、老健での施設入所待ちが難しくなった為ではないかと考える。

今後のショートステイの利用者獲得について

- ①現在、人工透析等医療が必要な方等を病院と連携を取りながら、受け入れていくようにしていく。
- ②見学の方への対応として、送迎を行なう等スムーズに見学できるようにしていく。
- ③多床室というハード面を考慮し、利用状況に応じて男性部屋、女性部屋の調整変更をしていく。但し、利用者様がロングショートから入所になった場合のベットの穴埋めには時間がかかるので、常に、入所前にロングショートステイ利用希望の方を探して、声をかけられる体制を作つておくことが課題となると思われる。

(3)年間短期入所生活介護利用状況(自費払い含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	20	23	22	19	22	24	19	19	20	16	14	19	237
延べ人数	227	274	293	311	397	357	286	294	251	254	252	272	3,468
1日平均(日中)	8.0	9.5	10.0	11.5	10.4	11.6	8.6	10.0	9.3	8.3	9.0	9.4	9.7
平均利用日数	11.4	12.0	13.3	16.4	18.0	15.0	15.0	15.5	12.6	15.9	18.0	14.3	14.8

(月平均 実人員 19.8 月平均 289.0)

(4)年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	40	39	38	37	34	34	37	36	34	32	32	31	424
延べ人数	410	334	351	378	325	355	379	378	349	315	334	391	4,299
介護予防 実人員	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	61
介護予防 延べ人数	28	34	31	29	29	31	34	32	35	30	27	28	368
1日平均(日中)	18.6	15.9	15.9	16.4	15.4	16.1	17.2	18.0	16.6	15.7	15.9	17.0	16.5

(5) 通所介護現況(H29.3.31現在)

①保険者別

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	4	26	30
富士見市	0	2	2
三芳町	0	1	1
日高市	0	1	1
合計	4	30	34

②年齢構成

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	1	0	1	3%
70～80歳未満	1	5	6	17%
80～90歳未満	2	18	20	59%
90～100歳未満	0	7	7	21%
100歳以上	0	0	0	0
合計	4	30	34	100%

③平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	82	68	75.6
女性	95	72	85.4

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	1.66	1.84	1.80	1.72	1.75	1.77	1.76	1.71	1.80	1.87	1.75	1.72
要支援1・2	7	7	8	7	7	7	7	8	8	7	9	9

⑤要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2	7	6	12	4	2	1	34

(6)通所介護報告書(H28.4月～H29.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	357	386	388	372	387	363	319	322	305	287	312	361
利用日数	21	22	22	21	23	22	21	22	21	20	20	23
平均利用者数	17.0	17.5	17.6	17.7	16.8	16.5	15.1	14.6	14.5	14.4	15.6	15.7

②介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	4	4	4	4	5	4	8	13	13	8	8	8
要支援 2	31	35	48	44	43	44	39	41	35	40	50	54
要介護 1	111	120	104	92	96	76	71	57	68	51	51	75
要介護 2	131	118	127	140	145	131	122	135	116	117	137	146
要介護 3	69	78	71	72	77	87	58	56	46	49	37	48
要介護 4	11	26	25	20	21	21	21	20	27	22	29	17
要介護 5	0	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	13

③介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	2	2	2
要支援 2	6	6	7	6	6	6	5	5	5	5	7	7
要介護 1	11	12	11	10	10	9	8	7	8	7	6	6
要介護 2	10	11	11	12	12	12	12	12	10	11	11	12
要介護 3	6	6	5	5	6	6	5	4	4	4	4	4
要介護 4	2	4	4	3	3	3	3	3	5	5	4	2
要介護 5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	36	41	40	37	38	37	35	34	35	34	34	34

④新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	3	1	8
おおい	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
他	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	6

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

⑤退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
老健	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
他施設	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
マザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

※他施設⇒他のデイ・デイケア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいわれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホーム)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑥平均介護度…1.7

⑦一日平均…16.0人 月平均…347人

(昨年度 一日平均16.5人 月平均 358人)

(7) 通所介護年間行事

4月 マザーアース南庭にてお花見
5月 母の日の会（5/9）
5月～6月 くら寿司へ外食
（5/30・6/1・6/7・6/9・6/13・6/17
6/22）
6月 ちまき風クレープ作り（6/24）
7月 七夕行事（7/7）
マシュマロ作り（7/27）
8月 夏祭り（8/29）
パフェ作り（8/30）
9月 敬老会（9/21）
10月 運動会（10/24）
かぼちゃのケーキ作り（10/27）
11月 さつまいものきんつば作り（11/30）
12月 お買い物ツアーハード（12/5）
クリスマス会（12/23）
クリスマスケーキ作り（12/27）
1月 新年会（1週間かけて職員の出し物実施）
お正月ケーキ作り（1/30）
2月 節分行事（2/3）
バレンタインチョコ作り（2/24）
3月 雛祭り行事（3/3）
桃のムースケーキ作り（3/30）
地蔵院へしだれ桜をお花見（3/28・3/31）

- ・28年度は「外食」「外出」を全体で計画・実施できた。
- ・行事やおやつ作り等の様子がご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、より季節感を意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントを職員で作り、全員にお渡しした。
- ・29年度は、音楽療法を月間予定に定期的に取り入れる。また、南庭、中庭の花壇の花植え等を利用者様と一緒にになって取り組んでいきたい。

8. 施設内事故報告

平成27年度	→	平成28年度
・ヒヤリハット 180件	→	155件
・事故 62件	→	88件

・委員会会議は月に2回、15時から実施

月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリハットの報告と対応策の検討

2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の結果報告を行ない、良ければ継続悪ければ再検討する。また歩行のつまずき、車椅子での立ち上がり、利用者同士のトラブルなどヒヤリの前の気になる行動をミニヒヤリとして報告を行うようにした。今後も継続していく。

・平成28年度の集計

① 事故 : 88件 (利用者数 41人) (27年度37人)

骨折 : 4件

病院受診 (打撲、裂傷など) : 9件

② ヒヤリ : 155件 (利用者数 64人) (27年度53人)

③ 今後の課題

・会議の参加

勤務等の配慮があり、委員が出席できた。

委員が会議までに報告書のチェックをできないことがある。勤務内で時間をつくれるよう配慮が必要。

・記録

報告書の提出は職員に習慣づいてきたので内容の向上を目指したい。

日付、時間、状況内容、どう対応したかをきちんと記入する。

また、事故やヒヤリ行動前の巡回や入眠中もきちんと記録することも大切である。

→原因と突き詰めていくと、反省点、今後の対応対策が見えてくると思う。

・利用者の状態の把握

① 歩行時のふらつきや転倒、車椅子からのずり落ち、異食、利用者同士のトラブルなど、利用者一人一人が持っているヒヤリ行動を把握して、適切な対応ができるようとする。

② 担当部署以外の利用者に関しても状態を把握して、とっさのヒヤリ行動に対応できるようにしていく。

③ 事故やヒヤリが起きてしまった時は、その日のうちに部署で対応策を話し合い、他の部署にも申し送る。

- ・職員の危機管理能力の向上

ヒヤリハットの話し合いの中で、職員一人一人の行動に関する危機意識を計り、低い場合は、危機管理能力を高めるようしていく。

- ・施設全体で利用者の行動について考え、対応していく。

各部署で見守りが困難な時間帯は、見守りが可能な部署や課が、ヒヤリ行動のある利用者の見守りを行うようにしていく。

(1) 平成28年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	14	6	10月	8	10
5月	18	1	11月	13	8
6月	16	3	12月	11	6
7月	16	3	1月	17	16
8月	12	13	2月	8	8
9月	15	8	3月	7	8

(2)事故発生場所 時間

	17:31~0:00 準夜勤	0:01~9:00 深夜勤	9:01~12:00 午前中	12:01~17:30 午後	計
玄関					
中庭					
南庭					
お風呂			6		6
ベランダ					
1階 居室	3	5	1	1	10
廊下(談話室)		2	2	2	6
トイレ		2		2	4
食堂		3	4	1	8
2階 居室	8	4	4	6	22
廊下	2	5	7	3	17
トイレ		1		1	2
食堂		3	1	5	9
その他				4	4
計	13	25	25	25	88

(3)ヒヤリハット発生場所 時間

	17:31~0:00 準夜勤	0:01~9:00 深夜勤	9:01~12:00 午前中	12:01~17:30 午後	計
玄関					0
中庭		1		2	3
南庭				1	1
お風呂			5	1	6
ベランダ					0
1階 居室	9	6	4	8	27
廊下(談話室)	2	4	9	10	25
トイレ		1		1	2
食堂	1	1	3	2	7
2階 居室	9	12	12	18	51
廊下	3	2	4	7	16
トイレ	1	1	1	3	6
食堂		4	2	1	7
その他			1	3	4
計	25	32	41	57	155

9. ボランティア受け入れ状況

ボランティアの活動は日常的に定着した。特に地域の子供たちの来所は、利用者の楽しみと生きがいになっている。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	3名
地域ボランティア	毎週木曜日	3 グループ1~7人
習字ボランティア	隔週金曜日	2名
舞の会（特養）	年2~3回	3名
舞の会（デイ）	年2~3回	3名
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	1名
美容ボランティア	毎週火曜日 月3回金曜日	2名
介護相談員	月2回	2名
クラリネット演奏	月1回	1名
民謡ボランティア	第二水曜日	5名
傾聴ボランティア	月5回	6名
生け花	月2回	1名
ハーモニカ	月2回	1名
文京大学 ボランティア		20名

- 学校関係・地域への協力・・・なみき幼稚園・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳小学校
三芳中学校・三芳東中学校

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話を耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもっていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10.実習の受け入れ

実習期間はさまざまであったが、受け入れの際は担当者を置き、計画的な対応を行なった。

6月6日～7月8日 2月6日～2月24日	文京学院大学	2人 2人
6月22日～7月27日 2月1日～2月27日 2月6日～2月26日	埼玉福祉専門学校	2人 2人 1人
7月6日～7月8日	三芳中学校	6人
10月11日～11月26日	立教大学	1人
7月4日～7月6日	三芳東中学校	3人

11.生活保護世帯の子供への教育支援

月・水・木曜日の18:00～20:00を学習時間として、中学生(主に生活保護家庭)の教育支援の場として1階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日30人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い、喜んで頂いた。学生たちは寄せ書きや夏祭りの設備作り等で協力してくださった。相互の信頼関係が構築できた。

1.1. 職員研修

(1) 外部研修（職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した）

4月	17日	「定期総会」「施設長会議」「情報交換会」	4名
	20日	学内採用ガイダンス	1名
	24日	H27年度管理者キャリアパス研修（24、30）	2名
	30日	H27年度介護職員合同入職式	6名
5月	18日	医療・介護経営戦略セミナー	1名
6月	2日	H27年度チームリーダーキャリアパス研修（2、4）	1名
	10日	栄養士研修会	1名
	18日	デイサービス部会研修会①	1名
	22日	H27年度中堅職員キャリアパス研修（22、23）	1名
	26日	感染症基礎研修会	1名
7月	7日	看護職員研修会	1名
	13日	H27年度初任者キャリアパス研修（13、15）	1名
	24日	人事労務セミナー	1名
	31日	彩の国あんしんセーフティーネット事業 (7/31、8/28、9/18)	1名
		コミュニケーションソーシャルワーク基礎研修 (7/31、8/4、5)	1名
8月	8日	福祉の仕事・保育の仕事就職フェア	1名
	10日	ナレッジ・マネジメントとは何か（10/7）	1名
	19日	彩の国あんしんセーフティーネット事業 ブロック会議・研修	4名
	31日	事務員研修会①	1名
		社会福祉法人監査研修	1名

9月	1日	H28年度認知症介護基礎研修	1名
	6日	第2回埼玉県リハビリ・介護ロボット研究会	1名
	8日	H28年度感染症専門研修	1名
		第5回埼玉県認知症介護実践研修 (8、9、13、10/18)	1名
	16日	第2回福祉用具研修会	1名
	20日	H28年度経営戦略セミナー (20、21)	1名
		H28年度スーパーバイザー養成研修 (20、27、10/4、11、18)	1名
	21日	H28年度スーパービジョン基礎研修	1名
	28日	第52回関プロ老人福祉施設研究総会 運営協会 (28、29)	1名
	30日	介護実践者ワンアップセミナー	1名
10月	1日	立教大学社会福祉研究所主催 2016年度家族援助技術セミナー	1名
	4日	H28年度リスクマネジメント研修 (4、14)	1名
	5日	埼玉県社協 埼玉県新任介護職員定着支援事業 (5、11/5)	1名
	8日	介護実践者ワンアップセミナー	3名
	9日	介護福祉士実習指導者講習会 (9、10、11/3、20)	1名
	13日	第3回地域包括ケアシステム推進セミナー	1名
	20日	H28年度福祉職員のための口腔ケア	1名
	21日	H28年度レクリエーション研修	1名
	22日	立教大学社会福祉研究所主催 2016年度家族援助技術セミナー	1名
	24日	H28年度孤立防止フォーラム (三芳町)	1名
	25日	H28年度埼玉県認知症介護基礎研修	2名
	26日	H28年度埼玉県老施協 地域包括・在宅介護支援部会研修会	1名
11月	1日	H28年度モチベーションアップ研修	1名
	4日	H28年度新任職員フォローアップ研修 (4、11/18)	1名
		H28年度埼玉県老施協 介護職員研修会①	2名
	7日	H28年度介護の日記念講演会	1名
	9日	H28年度埼玉県新任介護職員定着支援事業	1名
	10日	H28年度埼玉県老施協 調理員・栄養士研修会②	1名
	11日	H28年度福祉職員のためのターミナルケア研修	1名
	12日	立教大学社会福祉研究所主催 2016年度家族援助技術セミナー	1名
	14日	H28年度埼玉県新任介護職員定着支援事業	1名
	16日	送迎(福祉)車両安全運転講習会	1名
	17日	H28年度社会福祉法人管理者研修 H28年度第2回介護保険事業所連絡会	1名
	21日	H28年度介護記録等の書き方研修	2名
	25日	H28年度新任職員フォローアップ研修 (25、12/9)	1名
12月	2日	H28年度埼玉県老施協 デイサービス部会研修会	1名
	7日	社会福祉法人改革対策セミナー	2名
		介護体験実務説明会	2名
	13日	H28年度埼玉県老施協 多職種チームケア研修会	1名
	21日	H28年度埼玉県老施協 入間東支部 職員研修会	3名
	22日	彩の国あんしんセーフティネット担当相談員専門研修 (22、1/10)	2名

1月	9日	H28年度認知症介護専門研修（9、10）	1名
	12日	共生・共助つながりつくりシンポジウム	3名
	17日	H28年度チュータ一養成研修（17、20）	2名
	23日	H28年度認知症ケア向上研修	1名
	24日	H28年度全国老人福祉施設研究会議長崎会議（24、25）	2名
	27日	「臨時総会」「第2回施設長会議」	3名
	31日	第2回「医療と介護連携の会」多職種研修会	2名
2月	3日	ふじみ野市介護支援ボランティア活動指定事業所等研修会	1名
	13日	H28年度中堅職員フォローアップ研修（13、14）	1名
	15日	H28年度ストレスケア研修	1名
	16日	H28年度コミュニケーション力向上研修	1名
	17日	H28年度介護支援専門員向け質問力向上研修	1名
	20日	H28年度埼玉県老施協 介護支援専門員研修会	1名
	21日	介護ロボット ICT の活用で拓く介護事業の未来	2名
	24日	H28年度第2回社会貢献活動推進連絡会議	3名
	26日	H28年度介護福祉士実習指導者フォローアップ講習会	1名
	27日	H28年度埼玉県老施協 介護職員研修会②	1名
3月	1日	介護事業者セミナー 人材確保と定着・育成	1名
	6日	H28年度コミュニティソーシャルワーク 実践者交流会	2名
	10日	彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員スタートアップ研修 H28年度埼玉県社協 社会福祉施設災害時対応研修	3名
	22日	「二市一町高齢者虐待防止ネットワーク会議」研修会	1名
	24日	ロボット活用講座	3名
			2名

(2) 施設内研修

- 4月 1日 新入職員研修
27日 高齢者虐待について I
事業計画書について
- 5月 18日 AED・人工呼吸講習（消防官立会）
25日 事故発生防止について I 「ひやり・はっと」について
27日 リハビリ研修 ①
31日 リハビリ研修 ②
- 6月 29日 褥瘡予防について I
- 7月 13日 火災時緊急対応ビデオ研修
20日 総合消防訓練（消防官立会）
27日 看取り介護について I
- 8月 16日 排泄研修 ①
24日 避難訓練
30日 排泄研修 ②
31日 権利擁護について
- 9月 30日 口腔ケアについて
- 10月 19日 地震時の対応について
26日 感染症対策について II
- 11月 30日 事故発生防止について II
- 12月 5日 AED・人工呼吸講習（消防官立会）
- 12月 20日 褥瘡予防について II
21日 地震時緊急対応ビデオ研修
- 1月 24日 総合消防訓練
1月 25日 看取り介護について II
- 2月 6・7日 介護記録の書き方
- 2月 22日 高齢者虐待について II
避難訓練
23・25日 夜間転倒時の対応 ① ②
- 3月 7・8日 " ③ ④
- 3月 22日 苦情 「ひやり・はっと」から学ぶ
褥瘡予防について III
来年度の計画より「運営方針」について
- 3月 27日 チューター養成研修

12.健康管理

(1)健康管理処置状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検温	726	772	785	772	778	773	792	764	773	797	736	820	9,288
血圧測定	488	490	501	486	506	490	479	486	483	458	460	524	5,851
体重測定	54	54	56	31	54	55	54	54	55	21	54	56	598
心臓貼布剤	0	0	0	0	0	0	10	30	2	8	0	0	50
湿布貼布	0	3	2	3	4	0	2	1	11	1	8	13	48
常時投薬	1493	1412	1546	1582	1579	1497	1525	1562	1556	1447	1405	1612	18,216
臨時投薬	296	287	280	233	229	204	240	281	257	262	252	281	3,102
軟膏塗布	255	253	220	230	234	212	252	301	139	229	258	301	2,884
座薬(消炎鎮痛・解熱)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レシカル	4	5	6	1	4	2	2	3	3	10	3	3	46
浣腸	14	9	11	4	8	4	4	6	3	8	5	8	84
摘便	16	9	8	3	7	1	10	6	1	11	2	5	79
点眼薬	356	364	329	326	310	300	314	298	338	368	299	310	3,912
外科的処置	101	97	129	124	104	94	85	113	172	120	121	153	1,413
点滴	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
酸素吸入	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
ネブライザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吸引	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	2	7
注射	0	0	0	0	0	0	10	55	0	0	0	0	65
針・灸・マッサージ	32	32	24	27	27	27	24	27	21	24	28	33	326
臨時処方箋あり	0	14	49	61	64	83	24	30	62	92	15	16	510
ショートステイ	214	241	259	283	371	327	260	259	238	236	234	235	3,157
入院	13	0	0	13	62	67	43	43	64	66	15	20	406

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
形成外科	(男)												
	(女)								2	2	1		
耳鼻科	(男)												
	(女)			1			1						
外 科	(男)		1		1						1		
	(女)					1							
内 科	(男)				1			1					1
	(女)		1		1				1	2			1
泌尿器科	(男)												
	(女)												
整 形	(男)		1	1									
	(女)	1	1						3	1	2	2	
皮膚科	(男)										1		1
	(女)						2						
歯 科	(男)												
	(女)	1	3	1	7	2	2		1		1		2
脳外科	(男)						2	3	1	1	1		
	(女)									1			
眼 科	(男)		1		1		1		1	3			
	(女)		1										
入 院	(男)	1			1	1	2	1	2		1	1	
月末現在	(女)				1	1	2	2	2	1	1		1

入院者

木村和男様 入院中～4/13
 萩原トメ様 7/22～10/5
 宮澤貞吉様 7/29～9/24
 濑岡久信様 9/17～9/30
 佐々木素代様 9/20～11/7
 吉田邦彦様 11/12～11/22・2/8～2/21
 太田松重様 10/24～11/14
 石川知栄子様 11/18～1/9
 和泉守一様 1/5～1/15・1/19～1/31
 神田久子 3/12～4/3

(3) 28年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアースにおける1人1日当たりの栄養必要量	1394	58	39	600	10	730	1.1	1.1	100
4月	1555	67	39	607	11	1027	1.74	1.10	127
5月	1548	66	38	594	11	1044	2.24	1.11	130
6月	1566	66	39	596	10	1038	1.75	1.08	127
7月	1557	66	40	596	11	1049	1.72	1.08	130
8月	1549	67	40	598	11	1048	1.72	1.10	128
9月	1560	67	40	602	11	1031	1.74	1.10	126
10月	1545	67	39	599	11	1036	1.71	1.09	128
11月	1541	66	38	608	11	1064	1.76	1.09	131
12月	1545	67	39	599	11	1017	1.72	1.07	128
1月	1547	67	39	599	10	1037	1.71	1.08	128
2月	547	66	38	601	11	1059	2.41	1.11	133
3月	1553	66	40	605	11	1047	1.72	1.09	128
年間平均	1468	67	39	600	11	1041	1.83	1.09	129

(4) 平成28度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅・ブロッコリーゼリー寄せ・果物(キウイ) ・清汁(花麩、三つ葉)・草饅頭
7月7日	七夕	・七夕そうめん・天婦羅(キス、しし唐、しめじ)・かぼちゃのそぼろあんかけ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月30日	土用の丑	・ごはん・うなぎの蒲焼・冬瓜のカニ風味あんかけ・清汁(豆腐、わかめ) ・果物(パインアップル)
9月15日	十五夜	・鮭の月見蒸し・南瓜のそぼろあんかけ・味噌汁(茄子、油揚) ・果物(マンゴー)・月見まんじゅう
9月19日	敬老の日	・赤飯栗添え・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、お多福豆)・天婦羅 ・煮物盛り合わせ・清汁(生紅葉麩、三つ葉)・果物(メロン、巨峰)
11月3日	文化の日	・菊花寿司・ミートローフ照り煮・ほうれん草のお浸し・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(柿)・草饅頭
12月21日	冬至	・ほうとう風うどん・卸しれん根揚げ煮・たくあん ・果物(みかん)
12月23日	クリスマス	・ピラフ・鶏肉の照り焼き・ポテトサラダ・コンソメスープ ・果物(りんご缶)・おやつ(ショートケーキ)
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:エビの鬼がら焼き・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒豆煮豆・酢とり生姜) (二の重:里芋饅頭・紅白なます)・赤飯・清汁(生梅麩、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・おせち料理(一の重:天麩羅・海老とくわいちぎり・山芋磯辺揚げ・スマートサーモン・紅鮭昆布巻・磯風) (二の重:海老と帆立の若菜蒸し・カリフラワーサラダ)・鰯めし・清汁 ・果物(白桃缶ゼリー)・甘酒
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・白菜と人参のお浸し
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯・いわしの蒲焼・春菊の中華風和え・清汁(花麩、わかめ) ・果物(苺)・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司・お雛様・菜の花の辛子和え・清汁(花麩、三つ葉)・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

(5) 28年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・個々に合った食事を提供できるよう、食事をしている様子をみた。
- ・利用者の嗜好に合った新メニューを増やす。
- ・検食簿の意見や調理員同士の感想を参考に調理法を確認し、悪かった点はレシピを見直し、よかつた点は職員同士で共有した。
- ・極刻み職の主菜をソフト食の食材へ切り替えることで、利用者がより安全に召し上がるよう工夫した。

○他部署との連携

- ・定期的に栄養管理会議を開き、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と話し合いを行った。会議内容を充実させたい。

○職員の質の向上

- ・新入職員の育成に苦労した。
新入職員には専属で教えられるよう、チューター制度を導入し、できるだけ勤務時間をそろえる。
新入職員のペースに合わせ、焦らずゆっくり確実に覚えていってもらう。
余計な私語は慎み、仕事に集中できるような環境をつくる。
周りのサポートが必須なので、チューターだけでなく全員で育成する気持ちを持つ。
- ・定期的にミーティングを行い、情報・意思の共有とともにひとりひとりのモチベーションを上げる。

○調理技術の向上

- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。
- ・少ない人員でも滞りなく業務が行えるよう、省力化できることを見つけ、改善していきたい。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・仕込み方法を工夫することにより、包装されているものの混入を防いだ。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・できるだけ利用者に話しかけるよう気を付けた。
利用者の様子をしっかり見られるよう、機会を増やしていきたい。

13.居宅介護支援事業所

(1)ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受付	3	1	5	3	6	2	3	4	3	7	3	5	45
実施件数	66	65	66	67	72	69	68	70	71	72	73	74	833

(2)サービス利用状況(実人数)

通所介護	38	43	41	42	42	43	41	42	42	43	42	43	502
訪問介護	14	15	12	13	13	12	14	14	14	13	17	17	168
短期入所生活介護	15	13	10	9	9	12	10	13	10	9	7	10	127
短期入所療養介護	1	3	2	1	3	2	3	4	3	3	1	2	28
福祉用具貸与	40	39	39	41	44	43	40	40	40	40	41	43	490
訪問看護	6	6	6	7	8	6	6	7	6	6	6	7	77
通所リハビリ	9	10	11	14	14	15	15	16	16	16	16	18	170
訪問リハビリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問入浴	2	2	1	2	2	2	1	2	1	1	1	3	20
計	126	131	122	129	135	135	130	138	132	131	131	143	1583
利用事業所数	47	46	45	49	48	47	50	52	49	49	47	51	580

(3)申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	6	2	2	4	9	5	2	1	6	2	2	7	48
住宅改修	0	3	2	2	2	1	0	1	1	0	0	2	14
福祉用具購入	2	2	2	3(4)	0	1(3)	0	1(2)	0	1	1	1	14(※18)
計	8	7	6	9	11	7	2	3	7	3	3	10	76

※福祉用具購入品の数

・今年度は、昨年度に比べればケアプラン数増加、また依頼のあったケアプランはほぼ受けるよう努力した。

・今年度は、サービス付高齢者住宅にいる方等を前向きに受けた為、保険者がふじみ野市以外の方が増え、他市町村とのやり取りが多くなり、勉強になった。

・パソコンの入力(支援経過、担当者会議録など)がやはり追いつかず、たまってしまうことが多い。

⇒出来るだけ早めに入力するよう、時間を上手に使っていく。

14.高齢者あんしん総合センター

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	158	7
②電 話	3,746	185
③訪 間	1,030	17
④その他	81	4
合 計	5,015	213

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,805
②家族・親族	1,511
③介護支援専門員	484
④介護サービス事業所職員	1,032
⑤行政関係者	445
⑥関係機関	526
⑦民生委員	104
⑧近隣・知人	32
合 計	5,939

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
30

○相談内容 (単位:件)

①介護相談	145
②介護保険サービス	3,415
③介護保険の地域支援事業	563
④保健・医療・福祉	990
⑤権利擁護	53
⑥安否確認	42
⑦生活面	555
⑧家族	44
⑨金銭面	41
⑩住居	82
⑪近所・地域	45
⑫その他	42
合 計	6,017

○介護予防事業支援表作成件数(単位)

作成件数
0

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)	新規	継続
成年後見制度(再掲)	1	24
消費者被害(再掲)	0	0
困難事例(再掲)	2	10
虐待対応	①相談件数(再掲)	3
	②訪問件数(再掲)	1
	③立入につなげた件数	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐待	身体的虐待	9
	経済的虐待	0
	心理的虐待	0
	性的虐待	0
	介護放棄	0
合 計		9

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	5
②多職種連携に係る会議	2
③ケアマネ支援に係る研修等	0
④担当者会議	24
⑤出前講座実施	15
⑥地域型介護予防教室	22
⑦訪問型介護予防事業	12
⑧オレンジカフェ運営	6
⑨その他	2
合 計	88

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当者会議	0
②地域関係者主催の会議	1
③地域密着型運営推進会議	4
④権利擁護に係る会議	8
⑤予防教室関係	7
⑥市主催地域ケア会議	4
⑦その他	46
合 計	70

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	5	167
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	5	210
④介護予防の普及	1	45
⑤その他	0	0
合 計	11	422

15 平成28年度 あんしんセーフティネット事業 報告

支援対象	主な支援内容
① 入院費を支払った事で生活が成り立たなくなり生活保護を申請。受給日までの間が困窮となった女性	食料(購入)
② 夫の仕事が続かず、また、妻の家計管理能力が低いと判断される夫婦、子供3人（障害児あり）の親子世帯	光熱費、食料(購入)ふじみ野市福祉総合支援チームへ連携
③ 失業保険を当てにして再就職をせずにいたら、手続きをしていなかったため手当が入らず困窮に至った夫婦	光熱費、家賃、食料(フードバンク)
④ 財布を落とす、給料を落とすを繰り返し、困窮している男性	食料(フードバンク) 日用品(購入) アルバイト先までの交通費
⑤ 日払いの給料。会社都合での休暇が多かった事が収入減に繋がり生活費が足りなくなった親子世帯	光熱費、食料(購入)
⑥ 孫の世話を余儀なくされた事で退職に至り、収入がなくなった親子世帯	食料(フードバンク、購入) 日用品(購入)、光熱費
⑦ 会社の倒産により借金が残り、再就職をしたが、試用期間は給料が低く借金の返済もあり生活が困窮状態にある男性	光熱費、食料(購入)
⑧ 末期がんの診断を受けている。治療はしていないが、食事が摂れないため栄養補助の点滴をしに病院へ行かなくてはならないが、交通費がなく状態の維持ができない男性	食料(購入)
⑨ 知人に貸していたお金の返済を当てにしていたが、返金を求めようとしたが所在が不明で返金してもらえず困窮に至った男性	食料(フードバンク、購入)
⑩ 妻の会社が突如倒産し強制解雇。夫も先日まで仕事をしていなかったため収入がない外国人親子世帯	光熱費、通信費 食料(フードバンク、購入) 日用品(購入)
⑪ ⑩と同じ会社に勤めていたため、強制解雇で職を失った。夫は交通事故で休職中。収入がなくなった外国人親子世帯	光熱費、通信費 食料(フードバンク、購入) 日用品(購入)
⑫ ⑩と同じ会社に勤めていたため、強制解雇で職を失った。妻働いているが収入が少なく困窮に至った親子世帯	食料(購入) 日用品(購入)